

## 核データ研究会準備会打合せ会合議事録

日 時 昭和59年4月26日(水) 13:30~16:30  
場 所 原研本部第6会議室  
出席者 中嶋龍三, 松延廣幸, 木村逸郎, 大竹巖, 吉田正, 五十嵐信一

4月13日のシグマ委員会運営委員会における討論の経過説明があり, 五十嵐氏が研究会準備委員長に推された事, アジア地域で, 核データに関心を持っていると思われる中国, 韓国, オーストラリア, インドの4国に参加を呼びかけた事, などが紹介された。

研究会は11月13~15日に開催を予定しているので, プログラムの決定を8月下旬としたい事, 6月14日に予定されているシグマ委員会本委員会にプログラム案を示したい事, などを目標事項とした。

研究会の性格, 主なテーマなどについて議論があった。性格は国内研究会で, そこへ外国人が何人か加わる, と言うものであるとの説明があった。テーマについては以下のようなものが挙げた。

1. 核分裂反応の実験, 理論
2. 核分裂炉のベンチマークテスト
3. 遅発中性子スペクトルなど遅発中性子関係全般
4. 核燃料サイクルの核データ
5. 線量測定及び照射損傷関係の核データ
6. データファイルの展示及び端末による実演 (ポスター)
7. 核データ測定関係の話題 (講演にする)
8. 燃焼関係の話題
9. 感度解析システムの実演
10. データの要求と測定及び評価の現状 (パネル討論)

プログラムの詳細はプログラム・実行委員会で決めるが, 上記を考慮して, 次の人々に委員を委嘱することにした。

プログラム・実行委員（敬称略，順不同）：

中沢正治，大竹巖，松浦祥次郎，水本元治，吉田正，浅見哲夫，菊池康之，  
中川庸雄

また，相談役として

中嶋龍三，栢山一典，松延廣幸，木村逸郎

の四氏が選ばれた。

プログラム・実行委員会を5月10日(木)（13：30～ ）に原研東海  
研で開く。

外国へのアナウンスは一年以上前から行う必要がある。今回は遅いアナウンスだっ  
たが，出来るだけ早くプログラムを知らせてやる必要がある，などの意見があった。